

〔科目名〕 自治体政策法務論	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 選択科目
〔担当者〕 遠藤 哲哉 Endo Tetsuya	〔オフィス・アワー〕 時間:授業時間以外、随時 場所:大学院棟、1301 研究室	〔E-mail〕 tetsuya@b.nebuta.ac.jp
〔科目の概要〕 <p>地域社会の諸問題を解決し、公共善を実現するために、公共政策イノベーションとそれを担う新しいリーダーシップが求められている。地方創生の分権時代において、自己決定のチャンスを広げる制度とシステムが作られ、公共政策を創造する時代である。そこには、自己責任と能力の向上もまた必要である。本科目では、分権時代を確かなものとし、そこに生き、一人ひとりが優れた地域リーダーとして自己の成長を遂げうる道筋を、広い意味での政策法務の立場から明らかにしていきたい。具体的には、政策法務論、政策経営の諸理論、関連する財務の考え方を踏まえ、分権時代の地域経営、市民社会に基づく公共経営について、政策企業家的な観点から、公共政策イノベーションの創出を実現する諸方策を論じていく。</p> <p>地域社会に生きる人々の生命と安全を守り、全ての人々が幸せでやりがいのある仕事を行い、住みよい社会を創造していくために、どのような政策法務と地域マネジメントを行っていけば良いか。それらは、地域政治、行政及び経済の課題であると同時に、我々一人ひとりの行動や志にかかっている。特に今日では、社会起業家の台頭に焦点があてられることがあるように、地域に生きる人々一人ひとりの創意工夫、活力、ケアの精神、そしてまた政策起業やイノベーション創発のための場づくり（コミュニティ形成）等が重要である。</p> <p>具体的には、自治体政策法務の基本的な考え方を学びつつ、非営利団体、NPO・NGO、企業とのパートナーシップの内容や動向を紹介し、学際的観点から地域社会における政策法務の在り方を明らかにし、その活用の仕方を考える。</p>		
〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>政策法務は、様々な領域と深く結びついている。なぜならば、市民自治の下で、地域に生きる人々の豊かな生命を育み、新たな地域社会の未来を創造するための営みに関係しているからである。地域の一人ひとりが主役であり、潜在的な可能性を引き出し、日々成長を続け、新しい自己と地域社会を創造していくのである。そのために、なにが必要となるか、関連諸科学の成果を活用し究明していく。</p> <p>したがって、この科目では、地域社会において重要な役割を果たしている政策法務について、主として政策法務、行財政法務、市民自治等の観点から把握し理解を深める。そのために、自治体政策法務に隣接する諸科学の成果をも援用しつつ、学際的にアプローチする予定である。この科目を学ぶことによって、諸君は、地域社会に生きる一市民として、自治体政策法務の役割と意義を再検討することが期待される。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 最終目標 政策法務の様々な動向を踏まえて、さらに改革を行っていく上で必要と思われる内容を、政策起業家、関連する社会科学の諸観点から理解する。 中間目標 政策法務に関連する地域イノベーション、地域政策の具体的ケースを、事例に沿って理解し、その意義と役割について、理解を深める。特に、近年の財政危機の中にあつて、様々な政策改革動向が存在している。その実態を知ることによって、将来の改革展望についての認識を新たにできる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・新設の科目である。		
〔教科書〕 オリジナルの資料を使用します。 なお、授業中、指定文献、参考図書等の読書を課します。		

〔指定図書〕

駒崎弘樹『政策起業家：「普通のあなた」が社会のルールを変える方法』ちくま新書
磯崎初仁『自治体政策法務講義』第一法規、2018年。

〔参考書〕

磯崎初仁『立法分権のすすめ：地域の実情に即した課題解決へ』ぎょうせい
五十嵐敬喜他『美の条例』学芸出版社
鈴木康夫『自治体法務改革の理論』勁草書房
田中孝男『自治体法務の多元的統制』第一法規
天野巡一他『自治体政策と訴訟法務』学陽書房
中邨章『自治体主権のシナリオ：ガバナンス・NPM・市民社会』芦書房
山口道昭『入門 地方自治』学陽書房
菊池理夫『共通善の政治学：コミュニティをめぐる政治思想』勁草書房
松下圭一『市民自治の憲法理論』岩波新書
野口和雄『まちづくり条例の作法：都市を変えるシステム』自治体研究社
木佐茂男『わたしたちのまちの憲法』日本経済評論社
遠藤宏一『現代自治体政策論』ネルヴァ書房

随時、授業中に紹介します。

沢山の参考書を紹介するので、この機会に読破して欲しい。

〔前提科目〕

なし。自治体経営論、行政経営論と関連する。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

- ・ 不特定日に授業後、簡単な授業レポートの提出か小テストを行う予定です。
- ・ 評価は、試験、授業レポート、小テスト、授業中の参加態度、意見等を総合的に見ます。

〔評価の基準及びスケール〕

- ・ 試験、授業レポート、小テスト、及び授業への参加度等、全体を通して評価します。
なお、配点等は、授業時に説明します。

A: 100～80点

B: 79～70点

C: 69～60点

D: 59～50点

F: 49点～

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

グローバル化と少子高齢化、情報化の進展という社会の構造変動の中で、どのような地域社会を構想していけば良いか、未来の地域社会を、政策起業や政策法務の観点から検討するものです。

政策法務の動向を知り、理解を深めて下さい。また、この科目をきっかけに、実際に地域づくりの現場に行ったり、多くの関連書籍、文献を読破して、見聞を広めて欲しいと思います。なお、英文の資料も、使用します。

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか):オリエンテーション～自治体政策法務論の射程 内 容: 科目の概要、自治体政策法務、政策起業、地域価値創造、地域社会の再創造 教科書・指定図書 資料配布
第2回	テーマ(何を学ぶか):新たな地域社会への模索 内 容: 自治体政策法務と地域経営(1) 教科書・指定図書 資料配布

第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 自治体政策法務と地域経営(2)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 自治体政策法務と地域経営(3)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 自治体政策法務と地域経営(4)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(1)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(2)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編 中間まとめ</p> <p>内 容: 自治体政策法務の課題と再編振り返り(中間テスト)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(3)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(4)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(5)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(6)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(7)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と再編</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(8)</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):自治体政策法務の課題と展望</p> <p>内 容 まとめ</p> <p>教科書・指定図書 資料配布</p>